

長野市中山間地域(芋井地区)の住民自治コミュニティによる地域循環共生圏モデルを目指して

芋井地区住民自治協議会・長野県NPOセンター

芋井地区は長野市街地西部に位置する人口約2,000人の中山間地。住民自治協議会は住民主体の自治組織として地域の特性を生かしたまちづくりのために設置され、市と協定を結び、さまざまな事業を展開。人口減少が進み、中学校の廃校、高齢者の移動・買い物問題の発生、耕作放棄地や荒廃森林など未利用資源の増、観光施設の飯綱高原スキー場閉鎖、土砂災害などへの一層の備えなど課題が山積。既存の担い手の仕組みを活用しつつ、従来の住民自治とは異なる手法で持続可能な自立した地域を創っていく必要があると認識し、長野県NPOセンター主催の小規模多機能自治の勉強会への参加など、新たな動きを模索している。

協働による地域活動

地域 コア SH	公募住民		包括ケア協議会、PTA いろいろな学園、山の駅運営団体、飯綱高原観光協会、体験コンテンツ提供団体、ホテル・ペンション等観光事業者	公募住民(若者・女性)、住民自治協議会役員
	芋井地区里山整備利用推進協議会	自主防災組織		
地域 外 SH	長野市役所芋井支所		長野市役所芋井支所	
	バイオマスエネルギー事業者、エネルギー関係コンサル、地域金融機関		社会福祉協議会、交通事業者、Maas推進企業、カーシェアリング企業	IIHOE
	長野県環境部	長野県災害時支援ネットワーク 長野県危機管理部	環境省国立公園担当 長野県産業労働部	
	長野市環境政策課	長野市危機管理課	長野市交通対策課	長野市地域活動支援課

活動1:再生エネルギーの創出・活用の仕組みづくり
 遊休地活用の太陽光発電、豊富な水資源活用の小水力発電、里山資源活用のバイオマス発電といった多様なエネルギーシステムを地域主導で導入し、環境保全と持続的成長を同時に達成する再生可能エネルギー産業を創出することで、エネルギー自立と稼げる圏域経済の構築を目指す。

活動2:災害に強い地域づくり
 東日本台風等の経験知、災害支援のネットワークを活用した防災・減災の取り組みと再生可能エネルギーを活用した防災拠点整備を行うことにより、中山間地のモデルとなる災害に強いレジリエントな地域を目指す。

活動3:自然資源のワズユースによる地域ビジネスづくり
 妙高戸隠連山国立公園の麓エリアとして、自然資源と既存の観光産業をベースに、長年培われた体験コンテンツを更に発展させたワーケーション等の地域資源活用プログラムを創出し、全国的にも有数の拠点地域を目指す。また、自然保育、フリースクール、自然体験や文化伝統を継承するNPO・市民活動、地域コミュニティが多様に協働することにより、市内県外を対象とした「探究的な学び」の先進的なフィールドを目指す。

活動4:新しい地域交通のシステムづくり
 住民運営による共助型のグリーンモビリティシステム等の導入することで、地域内の新しい交通の確保を行う。車を持たない子ども・若者や高齢者の移動を優先的に保障するとともに、観光やワーケーション、学びツーリズムの2次交通として活用する移動コストゼロの地域を目指す。

活動5:中山間地域の住民自治コミュニティによる地域循環共生圏
 住民自治組織、中間支援組織のコーディネートで、多様な人材、企業・関係機関、地域をオープンにつなぎあわせることで、地域課題解決や新しい価値の創造に資する事業が創出され、小規模多機能自治により住民が参加協働する仕組みを構築する。隣接する地区や長野市内外のモデルとして横展開を目指す。

地域循環共生圏貢献

経済

活動1:地域主導のエネルギー産業関連の雇用増加。域外に流失していたエネルギー関連支出の減少。

- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう

活動3:地域外からのワーケーション、学びツーリズム等の訪問客増加による、稼げる地域化、関連雇用の増加。山の駅の直売所や地区内のホテル、ペンションなどでの地元農産物、加工品の消費の増加。地区の農業、林業の6次産業化の促進。

- 2 質をゼロに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 12 つくる責任 つかう責任

活動4:新交通システムが創出され稼げる地域となることによる関連の雇用の増加。

- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう

環境

活動1:再生可能エネルギーの実地産地消の実現による地域からの温室効果ガスの削減。

- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 15 陸の豊かさも守ろう

活動2:再生可能エネルギーを活用した防災現における地域からの温室効果ガスの削減。

- 13 気候変動に具体的な対策を

活動3:エコツーリズム、探究的学びのフィールド、自然保育、野外教育などにおける国立公園の自然資源の活用による環境保全活動の推進。

- 15 陸の豊かさも守ろう

活動4:グリーンズローモビリティや電気自動車のカラシェアシステムの導入による環境負荷の減少とCO2削減。

- 13 気候変動に具体的な対策を

活動1:地域外の再生可能エネルギー事業者、コンサルタント、行政担当部署等の多様なステークホルダーとの連携。

- 17 パートナリシップで目標を達成しよう

活動2:防災、減災の取り組みを生かしたハード、ソフト整備推進による災害に強いレジリエントな地区の実現。既存住民も、移住希望者の安心して居住生活確保。避難所運営における女性や障がいのある方を配慮したシステム導入。

- 3 すべての人に健康と福祉を
- 11 住み続けられるまちづくりを

活動3:ワーケーションの訪問客や地域づくり協働をすすめるステークホルダーなどの関係人口定着。地域課題解決に資する起業を志す者の移住増加。環境に優しく経済的に自立し安心安全な暮らしの実現による人口減少の歯止め。自然資源を活用した探究的学びの先進的フィールドの形成。

- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 8 働きがいも経済成長も
- 11 住み続けられるまちづくりを

活動4:車中心生活からの転換、子ども若者世代や高齢者など交通弱者の移動問題の解消などによる、安心して教育を受け、支障のない買い物や医療受診などの日常生活が確保された地域居住の実現。

- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを

活動5:小規模多機能自治が確立に伴う住民特に若者や女性が積極的に持続可能な地域づくりへの参画。明確な地域ビジョンを掲げ、住民の多様なニーズに寄り添った住民主体の自治運営なされる誰一人取り残されない安全安心で持続可能なコミュニティの形成。

- 3 すべての人に健康と福祉を
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 17 パートナリシップで目標を達成しよう

社会

- 16 平和と公正をすべての人に

17

パートナーシップで目標を達成しよう



14

海の豊かさを守ろう



15

陸の豊かさも守ろう



6

安全な水とトイレを世界中に



13

気候変動に具体的な対策を



11

住み続けられるまちづくりを



12

つくる責任 つかう責任



8

働きがいも経済成長も



10

人や国の不平等をなくそう



7

エネルギーをみんなにそしてクリーンに



9

産業と技術革新の基盤をつくろう



1

貧困をなくそう



2

質をゼロに



3

すべての人に健康と福祉を



4

質の高い教育をみんなに



5

ジェンダー平等を実現しよう

